

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2018-117654 (P2018-117654A)

【公開日】平成 30 年 8 月 2 日 (2018.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2018-029

【出願番号】特願 2017-9124 (P2017-9124)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 21 日 (2020.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御部と、  
演出を制御するサブ制御部と、を備え、  
前記主制御部は、  
所定の判定条件の成立に基づいて、当たりの判定を行う当たり判定手段と、  
前記当たりの判定の結果を示す識別図柄を変動表示させて停止表示させる識別図柄表示制御手段と、  
前記識別図柄の変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、を備え、  
前記サブ制御部は、  
前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンに基づいて演出を決定する演出決定手段と、  
前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行制御手段と、を備え、  
前記演出実行制御手段は、前記識別図柄の変動表示に並行して、所定の疑似連演出を実行可能なものであり、  
前記演出決定手段は、予め定められた第 1 演出モードに制御されているときには、第 1 の演出決定基準に従って、前記疑似連演出における疑似連回数と、第 1 演出モード用予告演出の組み合わせを決定可能であり、前記第 1 演出モードとは異なる第 2 演出モードに制御されているときには、第 2 の演出決定基準に従って、前記疑似連演出における疑似連回数と、第 2 演出モード用予告演出の組み合わせを決定可能であり、  
前記第 1 演出モード用予告演出には、演出時間が異なる複数の種類があり、  
前記第 1 演出モード用予告演出のうちの少なくとも一部の種類の演出と、前記第 2 演出モード用予告演出とは、演出時間が異なることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、  
前記変動パターン決定手段は、特定の遊技状態において、1 の判定基準に従って前記識別図柄の変動パターンを決定するものであり、  
前記演出決定手段は、前記特定の遊技状態において前記第 1 演出モードに制御されているときに前記第 1 の演出決定基準に従って演出を決定し、前記特定の遊技状態において前記第 2 演出モードに制御されているときに前記第 2 の演出決定基準に従って演出を決定す

ることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の遊技機は、  
遊技の進行を制御する主制御部と、  
演出を制御するサブ制御部と、を備え、  
前記主制御部は、

所定の判定条件の成立に基づいて、当たりの判定を行う当たり判定手段と、  
前記当たりの判定の結果を示す識別図柄を変動表示させて停止表示させる識別図柄表  
示制御手段と、

前記識別図柄の変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、を備え、  
前記サブ制御部は、

前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンに基づいて演出を決定する  
演出決定手段と、

前記演出決定手段によって決定された演出を実行する演出実行制御手段と、を備え、  
前記演出実行制御手段は、前記識別図柄の変動表示に並行して、所定の疑似連演出を実  
行可能なものであり、

前記演出決定手段は、予め定められた第1演出モードに制御されているときには、第1  
の演出決定基準に従って、前記疑似連演出における疑似連回数と、第1演出モード用予告  
演出の組み合わせを決定可能であり、前記第1演出モードとは異なる第2演出モードに制  
御されているときには、第2の演出決定基準に従って、前記疑似連演出における疑似連回  
数と、第2演出モード用予告演出の組み合わせを決定可能であり、

前記第1演出モード用予告演出には、演出時間が異なる複数の種類があり、

前記第1演出モード用予告演出のうちの少なくとも一部の種類の演出と、前記第2演出  
モード用予告演出とは、演出時間が異なることを特徴とする。